



2016 GRESB Real Estate Developer Assessment

April 1, 2016

2016 年 GRESB デイベロッパ一評価

© 2016 GRESB BV

訳責: CSR デザイン環境投資顧問株

(一般公開版)

GRESB とは

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク (GRESB) は、不動産ポートフォリオ（上場会社、私募ファンド、直接投資）、不動産債権ポートフォリオ、そしてインフラを含む実物資産の環境、社会、そしてガバナンス (ESG) パフォーマンスをグローバルに測るための業界主導の組織です。約 60 の年金基金やその受託者を含む約 200 のメンバーが、彼らの投資におけるリスク/リターン・プロファイルの最適化を明確に企図して、GRESB データを投資運用やエンゲージメント・プロセスに利用しています。詳細は www.gresb.com をご覧ください。

2016 年 GRESB ディベロッパー評価について

既存投資物件の運用管理に焦点を当てた不動産会社や運用会社向けの GRESB リアルエステイト評価の他に、GRESB は、開発を主業務とする組織向けに、独立した GRESB ディベロッパー評価を提供しています。GRESB ディベロッパー評価は、これらの組織の ESG パフォーマンスを評価する上で、新規開発と大規模改修に関連するポリシー、戦略、そして測定可能な活動に着目します。

下記の組織は、GRESB ディベロッパー評価に回答してください：

- ・ 完成後に売却することを目的として新規開発を行う、もしくは開発プロジェクトを取得する組織。これらのプロジェクトは、テナントの仕様に合わせたもの（ビルド・トゥ・スーツ (BTS) ）、運用会社に開発を委託されたもの、自己リスクで行われるもの場合があります。
- ・ 物件を再開発後に販売する目的で取得する組織。
- ・ 既存物件の運営を新規開発プロジェクトの副産物として行っており、コア事業は新規開発である組織。

GRES ディベロッパー評価の参加者は、GRESB リアルエステイト評価の設問の一部（「新規開発と大規模改修 (NC&MR) 」分野の 14 の設問を含む）に回答することとなります。

GRESB ベンチマークの役割

グローバルなベンチマークである GRESB は、異なる地域や投資ビークル、物件用途を統一的な方法で評価しています。ディベロッパー評価は、広範な ESG に関するトピックについて問う 37 の指標からなります。これらの指標は、開発活動やプロジェクトに携わる組織が重視する点をカバーするように作られています。

ディベロッパー評価に基づき、GRESB は個々の参加者にディベロッパー・スコアを提供します。不動産セクター自体や、不動産セクターが考慮すべき ESG の課題は非常に複雑であり、国や地域、物件用途によって、大きく異なることを GRESB は認識しています。したがって、パフォーマンス指標の絶対値の計測は、このベンチマークで報告される幅広い評価指標の一つにしかすぎないということを、GRESB は参加者と投資家の双方に対して強調しています。GRESB ディベロッパー評価の構成は、「ポリシー/計画、アクション、モニタリング、説明責任」といった論法により、個別のトピックについて報告できるように作られています。GRESB データの分析

のカギは、地域の違いを考慮に入れたピアグループとの比較にあります。

GRESB は、投資の意思決定プロセスに ESG の評価指標が用いられる事を目指しています。そして、投資家、企業、運用機関の間で ESG の課題に関する積極的な対話がなされることも、同等に重要です。このプロセスを促進するため、GRESB は投資家エンゲージメント・ガイドを投資家メンバーに提供しています。

誰が私のデータを見ることができるのですか？

GRESB ディベロッパー評価によって集められたデータは、参加者自らと下記のみ公開されます。

- ・非上場企業・ファンドの場合、その企業・ファンドに投資をしている GRESB 投資家メンバー
- ・上場企業・ファンドの場合、上場不動産の株式・投資口に投資をしている全ての GRESB 投資家メンバー

お試し参加

初めて評価に参加する不動産会社やファンドは、初年度の GRESB リアルエステイト評価結果を投資家に開示しない「お試し参加」を選択できます。この制度は、GRESB の投資家メンバーに自社の結果を開示することなく、GRESB の報告・評価プロセスに馴染んで頂ける 1 年間で貴社/ファンドに提供するものです。

この「お試し参加」の参加者名は、GRESB 投資家メンバーへ開示されます。しかし、投資家メンバーは「お試し参加」の参加者の評価結果へは、アクセスできません。「お試し参加」の参加者も、スコアカードおよびベンチマーク・レポートの利用が可能であり、次年度の評価に向けたパフォーマンス改善のための機会を確認できます。初参加の会社/ファンドでこの制度の利用を希望される場合は、ディベロッパー評価への参加登録をする際に「お試し参加」の選択肢を選んでください。

スケジュール

GRESB ディベロッパー評価は、回答入力のオンライン・ポータルサイトを 2016 年 4 月 1 日にオープンします。提出の締切は 2016 年 7 月 1 日であり、3 ヶ月の回答期間があります。この期限は厳守すべきものであり、GRESB は、この締切日以降の提出を受け付けません。

GRESB は、全ての参加者が提出した情報を GRESB で確認・分析します。この作業は、最初の回答提出を受けつけた時点で開始され、2016 年 7 月 31 日まで続きます。この期間内に、回答内容についての疑問点等を確認するために、GRESB から連絡をする場合もあります。調査結果は 9 月に発表され、下記の方法で提供されます。

GRESB スコアカードが、各々の調査参加者に無料で提供されます。スコアカードには下記が含まれます：

- ・ディベロッパー評価の全ての参加者に基づいた、ディベロッパー・スコア、比較、およびランキング。
- ・ディベロッパー評価の全ての参加者、および GRESB リアルエステイト評価のうち新規開発&大規模

改修分野に回答したすべての参加者に基づいた、追加の新規開発&大規模改修分野の個別のスコア、比較、およびランキング。

- ・また、貴社のESGパフォーマンスに関して、さらに詳しい分析を行ったベンチマーク・レポート（有料）も入手可能です。
- ・ **GRESB不動産会社／運用機関メンバー**：不動産会社／運用機関メンバーは、ディベロッパー評価への回答を提出した全ファンドについてベンチマーク・レポートを受け取ることができるとともに、GRESBメンバー用ポータルサイトにアクセスし、自らのポートフォリオ分析を行うことができます。
- ・ **GRESB投資家メンバー**：全ての投資先についてのベンチマーク・レポートが提供されます。また、GRESBメンバー用ポータルサイトの分析ツールを利用すると、投資先を選択して各投資家独自のレポートが作成できます。

回答チェック・サービス

回答チェックは、提出回答に関する高水準なチェックであり、各参加者が回答を提出する前に GRESB チームによって行われます。これは、評価結果に悪影響を与えるかもしれない誤りのリスクを最小限に抑えます。GRESB メンバー以外の方に関する回答チェックの費用は 750 ユーロ（付加価値税別途）です。GRESB メンバーは、メンバー特典の一つとして、無料の回答チェックが受けられます。複数のファンドの回答を GRESB リアルエステイト評価に提出する運用会社は、最大 3 件の回答チェックをメンバー特典として受けることができます。

リファレンスガイドとサポート

2016年ディベロッパー評価では、各指標について以下の内容を説明するリファレンスガイドを公開します。

- ・ 各指標の意図
- ・ 各回答の要件
- ・ 語句の説明
- ・ 関連する参考資料
- ・ 基本的なスコアリング情報
- ・ 獲得可能なポイント数

これに加え、2016年 GRESB ディベロッパー評価のリファレンスガイドでは、以下の内容もご説明します。

- ・ 2015年調査でよく見られた有効/無効な回答の例
- ・ GRESB の検証プロセスの詳細

リファレンスガイドは、2016年3月の第1週に、PDFにより公開します。GRESBポータルにて、各設問の横のポップアップで設問ごとのガイダンスも見られるようになります。GRESBヘルプデスクは、参加者からの質問に答えるために、通年で開いています。

不動産会社、資産運用会社、サービス・プロバイダーに対する GRESB トレーニングプログラム

GRESB は 2016 年春に、不動産会社、資産運用会社とそのアドバイザーに対するトレーニングプログラムを実施します。この GRESB トレーニングプログラムは、GRESB リアルエステイト評価によってカバーされる、不動産ポートフォリオにおける全ての ESG 分野を対象とし、高品質かつ豊富な内容による教育を提供するものです。このトレーニングにより、参加者は自社のパフォーマンスの現状把握や評価向上、効率的な回答準備、さらには提出する回答の質の向上を図ることが可能になります。

このトレーニングプログラムは、ヨーロッパ、北米、アジア、アジア太平洋のいくつかの場所で実施します。ご要望により、各社でのインハウスセッションも可能です。このプログラムに関する詳細な情報は GRESB のウェブサイトから入手できます。

目次

貴社/ファンド・報告の基本情報	6
マネジメント	11
ポリシーと開示	15
リスクと環境管理システム (EMS)	21
ステークホルダーとの関係構築 (エンゲージメント)	26
新規開発と大規模改修	32

貴社/ファンド・報告の基本情報

貴社/ファンドの基本情報

EC1 貴社/ファンド名

- ・ 貴社/ファンド名 _____
- ・ 資産運用会社名（該当する場合のみ） _____

EC2 貴社/ファンドの形態

- ・ 上場企業/上場 REIT ISIN 番号をご記入下さい。 _____
投資開始年 _____
- ・ 私募ファンド
ファーストクロージングの年 _____

私募ファンド：

ファンドのスタイルの分類：

- コア型
- バリューストック型
- オポチュニスティック型

オープンエンド型あるいはクローズドエンド型：

- オープンエンド型
- クローズドエンド型

有期限型あるいは無期限型：

- 有期限型 終了日をご記入下さい。 _____
- 無期限型

EC3 報告期間（1年間）

- 暦年（2015年）
- 会計年 期末年月日 _____年 _____月 _____日

EC4 貴社グループは、次の協会の会員ですか。

【はい】 (複数回答可)

- ANREV APREA BPF EPRA INREV
 IVBN NAREIT PREA REALpac

【いいえ】

報告の基本情報

RC1 報告上の通貨

- 日本円 その他 (具体的に) _____

RC2 貴社/ファンドの報告期間の期末年月日における物件の総資産価値 (GAV)

_____ (百万円)

RC3 報告上の面積の単位

- 平方メートル 平方フィート

RC4 貴社/ファンドの中核事業は何ですか。

【はい】

- 既存投資物件の運用管理のみ (GRESB リアルエステイイト評価へ進んでください)
 既存投資物件の運用管理、新規開発事業および大規模改修 (新規開発事業&大規模改修分野を含む
GRESB リアルエステイイト評価へ進んでください)
 新規開発事業および大規模改修のみ (RC-NC1.1 に回答してください)

新規開発と大規模改修

RC-NC1.1 報告期間における貴社/ファンドの新規開発プロジェクトの構成：

用途	報告期間の終了時に進行中の プロジェクト			報告期間中に完了した プロジェクト		
	物件数	総面積 (㎡)	総資産価値*	物件数	総面積 (㎡)	総資産価値*
商業施設 (メインストリート)						
商業施設 (ショッピングセンター)						
商業施設 (卸売り)						
オフィス						
産業施設 (物流倉庫)						
産業施設 (ビジネスパーク)						
産業施設 (製造業)						
住居 (集合住宅)						
住居 (戸建住宅)						
住居 (高齢者住宅)						
住居 (学生住宅)						
ホテル						
ヘルスケア						
診療所						
娯楽施設						
データセンター						
レンタル倉庫						
駐車場 (屋内)						
その他 (具体的に) _____						
合計						

*GAV は評価額によるものでも、建設費によるものでも結構です。

RC-NC1.2 新規開発事業における報告範囲について特殊事情等があれば記述してください。（英語 250 ワード、日本語 500 字以内）

--

RC-NC2.1 報告期間における貴社/ファンドの大規模改修事業構成：

用途	報告期間の終了時に進行中のプロジェクト			報告期間中に完了したプロジェクト		
	物件数	総面積 (㎡)	総資産価値 *	物件数	総面積 (㎡)	総資産価値 *
商業施設 (メインストリート)						
商業施設 (ショッピングセンター)						
商業施設 (卸売り)						
オフィス						
産業施設 (物流倉庫)						
産業施設 (ビジネスパーク)						
産業施設 (製造業)						
住居 (集合住宅)						
住居 (戸建住宅)						
住居 (高齢者住宅)						
住居 (学生住宅)						
ホテル						
ヘルスケア						
診療所						
娯楽施設						
データセンター						
レンタル倉庫						
駐車場 (屋内)						
その他 (具体的に) _____						
合計						

*GAV は評価額によるものでも、建設費によるものでも結構です。

RC-NC2.2 大規模改修プロジェクトにおける報告範囲について特殊事情等があれば記述してください。(英語 250 ワード、日本語 500 字以内)

RC-NC3 新規開発・大規模改修プロジェクトにおける貴社/ファンドの保有資産の国別分布を総資産価値 (GAV) の割合 (%) で表示してください。

国名	_____	_____	_____
比率	_____ %	_____ %	_____ %

マネジメント

サステナビリティ目標

DQ1 貴社/ファンドはサステナビリティに関する具体的な目標を設定していますか。[リアルエステイト評価 Q1]

【はい】

目標は以下のどれに関するものですか。(複数回答可)

- サステナビリティ一般
- 環境
- 社会
- ガバナンス

目標はビジネス戦略全体に組み込まれていますか。(1つを選択)

- 完全に組み込まれています
- 部分的に組み込まれています
- 組み込まれていません

目標を開示していますか。

- 目標を開示しています。

オンライン：リンク先_____

オフライン：裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

サステナビリティに関する貴社の目標をご説明ください。(英語 250 ワード、日本語 500 字以内)

- 目標は開示していません。

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

サステナビリティに関する貴社の目標をご説明ください。(英語 250 ワード、日本語 500 字以内)

【いいえ】

DQ2 貴社グループには、貴社/ファンドのサステナビリティ目標を執行する責任者が一人またはそれ以上いますか。(複数回答可) [リアルエステイト評価 Q2]

社内でサステナビリティが主業務の専任担当者を配置

該当者の中で最も役職が高い方についてご記入ください。

名前 _____

役職 _____

Eメールアドレス _____

LinkedInプロフィール (任意) _____

社内でその他の業務と兼務の担当者を配置

該当者の中で最も役職が高い方についてご記入ください。

名前 _____

役職 _____

Eメールアドレス _____

LinkedInプロフィール (任意) _____

外部のコンサルティング会社・PM会社等を活用

コンサルティング会社名 _____

ウェブサイト _____

担当者 _____

その他 (具体的に) _____

該当なし

サステナビリティに関する意思決定

DQ3 貴社グループは、貴社/ファンドに適用されるサステナビリティ委員会等をお持ちですか。 [リアルエステイト評価 Q3]

【はい】

委員会等の参加者を下記より選択して下さい。(複数回答可)

- アセット・マネジャー
- 取締役会（最高意思決定機関）メンバー
- 外部コンサルティング会社 会社名 _____
- ファンド／ポートフォリオ・マネジャー
- プロパティ・マネジャー
- シニアマネジメント
- その他（具体的に） _____

【いいえ】

注： 会社名の欄に記入された会社について追加情報を求められる場合があります。

DQ4 貴社/ファンドにおいては、サステナビリティを担当する最終的な決定権限者が任命されていますか。
[リアルエステイト評価 Q4]

【はい】

- 取締役会（最高意思決定機関）メンバー
- ファンド／ポートフォリオ・マネジャー
- 投資委員会メンバー
- シニアマネジメント
- その他（具体的に） _____

上記について、最終的な決定権限者の方の情報をご記入下さい。

名前 _____

役職 _____

E メールアドレス _____

LinkedIn プロフィール（任意） _____

【いいえ】

DQ5 貴社/ファンドは、貴社/ファンドのサステナビリティに関する実績について、最終的な決定権限者に報告する正式なプロセスをお持ちですか。[リアルエステイト評価 Q5]

【はい】

報告プロセスについて、具体的にお書き下さい。（英語250ワード、日本語500字以内）

【いいえ】

【該当なし】

DQ6 貴社グループは、貴社/ファンドを担当する従業員の年間業績目標にサステナビリティの要素を反映していますか。[リアルエステイト評価 Q6]

【はい】

これらの要素が反映されていた従業員を選択して下さい。（複数回答可）

- アクイジション担当者
- 全従業員
- アセット・マネジャー
- 取締役会（最高意思決定機関）メンバー
- 顧客サービス担当者
- ファンド/ポートフォリオ・マネジャー
- プロパティ・マネージャー
- シニアマネジメント
- その他（具体的に） _____

【いいえ】

ポリシーと開示

サステナビリティに関する開示

DQ7.1 貴社グループは、そのサステナビリティに関する実績を開示していますか。[リアルエステイト評価 Q7.1]

【はい】（複数回答可）

アニュアル・レポート（資産運用報告書を含む）の1セクション

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

報告のレベル

- 貴社／ファンド
- 資産運用会社
- グループ

準拠するガイドライン名* _____

単体のサステナビリティ報告書

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

報告のレベル

- 貴社／ファンド
- 資産運用会社
- グループ

準拠するガイドライン名* _____

統合報告書

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

報告のレベル

- 貴社／ファンド
- 資産運用会社
- グループ

準拠するガイドライン名* _____

- 会社ウェブサイトのサステナビリティ専用セクション

ハイパーリンクを記入してください。

リンク先 _____

報告のレベル

- 貴社／ファンド
 資産運用会社
 グループ

- 貴社/ファンドの投資家向けレポートの1セクション

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

準拠するガイドライン名* _____

- その他（具体的に） _____

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

報告のレベル

- 貴社／ファンド
 資産運用会社
 グループ

準拠するガイドライン名* _____

***以下のリストより準拠するガイドライン名を選択して下さい。**

- ANREV（INREV サステナビリティ報告レコメンデーションを採用），2014
 APREA サステナビリティ・ハンドブック，2012
 EPRA サステナビリティ報告ベストプラクティス・レコメンデーション，2014
 GRI サステナビリティ報告ガイドライン，G4
 IIRC 国際統合報告フレームワーク，2013
 INREV サステナビリティ報告レコメンデーション，2012
 PRI 報告フレームワーク，2016
 その他（具体的に） _____

【いいえ】

DQ7.2 貴社グループのサステナビリティに係る情報開示は、独立した第三者機関によりレビューされていますか。[リアルエステイト評価 Q7.2]

【はい】

該当する項目を選択してください。(複数回答可 Q7.1 の回答に対応)

アニュアル・レポートの1セクション

- ・ 第三者機関により確認されている 第三者機関の名称 _____
- ・ 第三者機関により検証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____
- ・ 第三者機関により保証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____

単体のサステナビリティ報告書

- ・ 第三者機関により確認されている 第三者機関の名称 _____
- ・ 第三者機関により検証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____
- ・ 第三者機関により保証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____

統合報告書

- ・ 第三者機関により確認されている 第三者機関の名称 _____
- ・ 第三者機関により検証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____
- ・ 第三者機関により保証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____

貴社/ファンドの投資家向けレポートの1セクション

- ・ 第三者機関により確認されている 第三者機関の名称 _____
- ・ 第三者機関により検証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____
- ・ 第三者機関により保証されている 第三者機関の名称 _____
スキーム名 (*) _____

その他 (具体的に) _____

- ・ 第三者機関により確認されている 第三者機関の名称 _____

- | | |
|---|----------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者機関により検証されている | 第三者機関の名称 _____
スキーム名（*） _____ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者機関により保証されている | 第三者機関の名称 _____
スキーム名（*） _____ |

* スキームのリスト（リファレンスガイドにて公表）

【いいえ】

【該当なし】

ESG ポリシー

DQ8 貴社グループは、貴社/ファンドレベルに適用する、環境問題に対処するポリシーを制定していましたか。[リアルエステイト評価 Q8]

【はい】

以下より、選択してください。（複数回答可）

- 生物多様性と生息地
- 建物の安全性
- 気候/気候変動への適応
- エネルギー消費/管理
- 建築資材の環境的な属性
- 温室効果ガス（GHG）排出/管理
- レジリエンス
- 廃棄物管理
- 水消費/管理
- その他（具体的に） _____

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

または、資料名・発効日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

DQ9 貴社グループは、貴社/ファンドレベルに適用する、ガバナンス問題に対処するポリシーを制定していませんか。[リアルエステイト評価 Q9]

【はい】

以下より、選択してください。(複数回答可)

- 贈賄・汚職
- 児童労働
- 多様性と機会均等
- 役員報酬
- 強制的労働
- 労使関係
- 株主の権利
- 労働者の権利
- その他(具体的に) _____

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

または、資料名・発効日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

DQ10 貴社グループは、貴社/ファンドに適用するステークホルダーとの関係構築(エンゲージメント)のためのポリシーを制定していませんか。[リアルエステイト評価 Q10]

【はい】

以下より、選択してください。(複数回答可)

- 外部の AM/PM
- 消費者
- コミュニティ
- 従業員
- 政府/地方自治体
- 投資パートナー
- 投資家/株主

- サプライ・チェーン
- テナント／入居者
- その他（具体的に） _____

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

DQ11 貴社グループは、貴社/ファンドを担当する従業員に適用する従業員ポリシーを制定していますか。[リアルエステイト評価 Q11]

【はい】

以下より、選択してください。（複数回答可）

- サイバーセキュリティ
- 多様性と機会均等
- 安全衛生
- パフォーマンス・キャリア開発
- 報酬
- その他（具体的に） _____

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

リスクと環境管理システム (EMS)

ガバナンス

DQ12 貴社グループは、Q9 のガバナンス・ポリシーを有効に実行していくためのシステム・手続き等をお持ちですか。[リアルエステイト評価 Q12]

【はい】

以下より、選択してください。(複数回答可)

- 投資デュー・デリジェンスのプロセス
- 従業員に対するガバナンス・リスクに関する研修 (複数回答可)
 - 入社時研修
 - 定期的研修
- 内部告発の仕組み
- その他 (具体的に) _____

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

【該当なし】

DQ13 貴社/ファンドは、貴社/ファンドのガバナンス・リスク評価を過去3年以内に行いましたか。[リアルエステイト評価 Q13]

【はい】

以下より、選択してください。(複数回答可)

- 贈賄・汚職
- 児童労働
- 多様性と機会均等
- 役員報酬
- 強制的労働

- 労使関係
- 株主の権利
- 労働者の権利
- その他（具体的に） _____

上記で選択したリスクの軽減のために、ガバナンス・リスク評価の結果をどのように利用していますか。
（英語 250 ワード、日本語 500 字以内）

ガバナンス・リスク評価の内容と、その結果をどのようにリスク軽減に利用しているかとの両方を説明する資料をご提供ください。

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

DQ14 貴社グループは、汚職に係る訴訟に関与しましたか。[リアルエステイト評価 Q14]

【はい】

以下について、お答え下さい。

2015 年に、汚職を理由に従業員が解雇された、あるいは処罰を受けた件数 _____ 件

2015 年に、汚職に関する契約違反により、共同事業者との契約が更新されなかった件数 _____ 件

補足情報があれば、ご記入ください。（英語 250 ワード、日本語 500 字以内）

【いいえ】

環境と社会

DQ15.1 貴社/ファンドは、新規投資物件に対して、標準的なデュー・デリジェンスのプロセスの一部として、環境・社会リスク評価を行っていますか。[リアルエステイト評価 Q15.1]

【はい】

以下より、選択してください。(複数回答可)

- 建物の安全性と使用されている資材
- 気候変動への適応
- 汚染
- エネルギー使用の効率性
- エネルギー供給
- 洪水リスク
- 温室効果ガス排出
- 健康、安全及び福祉
- 室内環境の質
- 自然災害
- 法規制
- レジリエンス
- 社会経済
- 交通手段
- 水使用の効率性
- 廃棄物管理
- 水供給
- その他(具体的に) _____

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

【該当なし】

DQ16 貴社/ファンドは、環境に係る罰金・罰則を科されましたか。[リアルエステイト評価 Q20]

【はい】

環境に係る罰金・罰則を科された件数 _____

環境に係る罰金・罰則の総額 _____

補足情報があれば、ご記入ください。（英語 250 ワード、日本語 500 字以内）

【いいえ】

環境管理システム (EMS)

DQ17.1 貴社グループは、貴社/ファンドレベルに適用する環境管理システム (EMS) を使用していますか。

[リアルエステイト評価 Q21. 1]

【はい】

裏付け資料を添付してください。 (資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

DQ17.2 DQ17.1 でお答え頂いた EMS は何らかの基準に準拠している、あるいは独立した第三者機関により認証されていますか。 [リアルエステイト評価 Q21. 2]

【はい】

準拠している 基準名 _____

第三者により認証されている 認証機関名 _____ 基準名 _____

裏付け資料を添付してください。 (資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

【該当なし】

ステークホルダーとの関係構築（エンゲージメント）

従業員

DQ18 貴社グループは、DQ11 の従業員ポリシーを有効に実行していくためのシステム・手続き等をお持ちですか。 [リアルエステイト評価 Q32]

【はい】

以下より、選択してください。（複数回答可）

- 年次のパフォーマンス評価やキャリア開発レビュー
- 匿名でのウェブ・フォーラム／ホットライン
- コンプライアンス・オフィサーへのアクセス
- 定期的なアップデート・研修
- その他（具体的に） _____

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

DQ19 貴社/ファンドを担当する従業員は定期的な研修を受けていますか。 [リアルエステイト評価 Q33]

【はい】

2015年に職業上の研修を受けた従業員の割合 _____%

2015年にサステナビリティに焦点を当てた研修を受けた従業員の割合 _____%

サステナビリティに焦点を当てた研修について、カバーされた要素を選択してください。（複数回答可）

環境に関する研修内容

- 汚染
- 温室効果ガス
- エネルギー

- 自然災害
- 規制基準
- サプライ・チェーンによる環境影響
- 廃棄物
- 水
- その他（具体的に） _____

社会に関する研修内容

- 顧客／テナントの健康・安全と福祉
- コミュニティの健康・安全と福祉
- コミュニティへの社会的・経済的影響
- サプライ・チェーンの健康・安全と福祉
- 職場の健康・安全と福祉
- その他（具体的に） _____

【いいえ】

DQ20.1 貴社グループは、過去3年以内に従業員満足度調査を実施しましたか。[リアルエステイト評価Q34.1]

【はい】

- 社内調査
 - 調査を受けた従業員の割合 _____%
 - 調査回答率 _____%
- 外部の調査会社による調査
 - 調査を受けた従業員の割合 _____%
 - 調査会社名 _____
 - 調査回答率 _____%

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

DQ20.2 貴社グループには、DQ20.1 の調査結果に基づいた、従業員満足度を向上させるためのプログラムがありますか。[リアルエステイト評価 Q34.2]

【はい】

以下より該当項目を選択してください。（複数回答可）

- アクションプランの策定
- シニアマネジメントとのフィードバック会合
- 他チームや他部署とのフィードバック会合
- フォーカスグループ
- その他（具体的に） _____

【いいえ】

【該当なし】

DQ21.1 貴社グループは、過去3年の間に従業員の安全衛生調査を実施しましたか。[リアルエステイト評価 Q35.1]

【はい】

以下より該当項目を選択してください。（複数回答可）

- 健康と福祉に関する従業員調査 調査を受けた従業員の割合 _____%
- 健康診断・メンタルヘルスチェック 調査を受けた従業員の割合 _____%
- ワークステーション・職場環境の検査 調査を受けた従業員の割合 _____%
- その他（具体的に） _____ 調査を受けた従業員の割合 _____%

【いいえ】

【該当なし】

DQ21.2 貴社グループは、従業員の労働安全衛生指標をモニターしていますか。[リアルエステイト評価 Q35.2]

【はい】

以下より該当項目を選択してください。（複数回答可）

- 欠勤率 _____（数値を記入）

損失日数率 _____ (数値を記入)

その他 (具体的に) _____ (数値を記入)

従業員の労働安全衛生指標の計算方法について説明してください。

(英語 250 ワード、日本語 500 字以内)

【いいえ】

テナント

DQ22 貴社/ファンドは、標準的な賃貸借契約条項の中にサステナビリティに焦点を当てた要件（グリーンリース条項）を組み込んでいますか。[リアルエステイト評価 Q39.1]

【はい】

以下より該当項目を選択してください。（複数回答可）

- 改修コストを最小化することよりも、サステナビリティ配慮を優先できるオーナーの権利
- グリーンリース条項の遵守をモニターするため、物件に立ち入ること
- サステナビリティに配慮した物品・サービス購入のための協力
- 省エネ改修コストのテナントによる分担条項
- テナント工事におけるエネルギー効率や環境配慮に関する要件
- グリーンビル認証取得・維持のための情報共有
- 義務的な省エネルギー格付制度のために必要なオーナー/テナント双方の情報の正確性に関する法的義務
- 建物の環境性能に悪影響を与える行為をしない義務
- 建物の運用実績に関する基準
- 消費量の目標値の共有
- 電気・ガス・水等の消費量データの共有
- その他（具体的に） _____

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

【該当なし】

サプライ・チェーン

DQ23 貴社グループは、貴社/ファンドレベルに適用する調達プロセスにおいてサステナビリティに焦点を当てた要件を設けていますか。[リアルエステイト評価 Q40]

【はい】

以下より該当項目を選択してください。（複数回答可）

- 外部の請負業者
- 外部の PM/AM
- 外部のサービス提供者
- 外部のサプライヤー
- その他（具体的に） _____

以下より要件に含まれる内容を選択してください。（複数回答可）

- 企業倫理
- 調達プロセスに関する環境基準
- 物品に関する環境基準
- 人権
- 物品に関する健康に基づく基準
- 労働安全衛生
- 下請業者へのサステナビリティ要件の設置
- その他（具体的に） _____

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

【該当なし】

新規開発と大規模改修

サステナビリティに関する要件

NC1 貴社/ファンドには、新規開発および大規模改修プロジェクトにおけるサステナビリティ戦略がありますか。

【はい】

戦略に含まれる要素を選択してください。（複数回答可）

- 生物多様性と生息地
- 気候／気候変動への適応
- エネルギー消費／管理
- 建築資材の環境的な属性
- 温室効果ガス（GHG）排出／管理
- 健康・安全と福祉
- 立地と交通
- レジリエンス
- サプライ・チェーン
- 水消費／管理
- 廃棄物管理
- その他（具体的に） _____

戦略を開示していますか。

- 戦略を開示しています。

オンライン：リンク先 _____

オフライン：裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____）

サステナビリティに関する貴社の戦略をご説明ください。（英語 250 ワード、日本語 500 字以内）

- 戦略は開示していません。

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____）

サステナビリティに関する貴社の戦略をご説明ください。（英語 250 ワード、日本語 500 字以内）

【いいえ】

NC2 貴社/ファンドには、新規開発プロジェクトにおいてサステナブルな敷地選定に関する基準がありますか。

【はい】

該当する基準を全て選択してください。(複数回答可)

- 多様な交通ネットワークへの接続
- 既存の開発地域内でのプロジェクトの実施
- 水界生態系の保護、保全、修復
- 農地の保護、保全、修復
- 氾濫原機能の保護、保全、修復
- 絶滅危惧種の生息地の保護、保全、修復
- ブラウンフィールドの再開発
- その他 (具体的に) _____

貴社のサステナブルな敷地選定に関する基準は以下と整合していますか。

- 第三者のガイドライン ガイドライン名: _____
- 第三者の格付システム スキーム/サブスキーム名: _____
- その他 (具体的に) _____
- 整合していない

貴社のサステナブルな敷地選定基準の要求レベルは以下のどれですか。

- 現地の法定基準を満たすことを要求している。
- 法定以上のレベルの基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

法定以上のレベルの基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。

その基準をご説明ください。(英語 150 ワード、日本語 300 文字以内)

国または国際的な先導的基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。

その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

国または国際的な先導的基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。

その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

または、資料名・発行日をご記入ください。

資料名 _____

発行日 _____

【いいえ】

【該当なし】

NC3 貴社/ファンドには、新規開発および大規模改修プロジェクトのサステナブルな敷地デザイン/開発に関する要件がありますか。

【はい】

該当する項目を選択してください。(複数回答可)

- 建設・解体材を再利用・リサイクルすることによる廃棄物の管理
- 植生、岩、土壌を再利用することによる廃棄物の管理
- 建設工事中の空気質の保護
- 建設工事に起因する汚染の制御・流入防止による地表水・水界生態系の保護
- 建設工事や過去の開発によって汚染された生息地・土壌の保護、修復
- その他（具体的に） _____

貴社のサステナブルな敷地デザイン/開発要件は以下と整合していますか。

- 第三者のガイドライン ガイドライン名： _____
- 第三者の格付システム スキーム/サブスキーム名： _____
- その他（具体的に） _____
- 整合していない

貴社のサステナブルな敷地デザイン/開発基準の要求レベルは以下のどれですか。

- 現地の法定基準を満たすことを要求している。
- 法定以上のレベルの基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

- 法定以上のレベルの基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語 150 ワード、日本語 300 文字以内）

- 国または国際的な先導的基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

- 国または国際的な先導的基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

建築資材と認証

NC4 貴社/ファンドは、新規開発および大規模改修プロジェクトにおいて、建築資材の環境や健康に関する属性を考慮することを求めていますか。

【はい】

該当する項目を選択してください。(複数回答可)

- 建築資材の健康に関する属性と性能についてのポリシーを正式に採用している
- 建築資材の環境に関する属性と性能についてのポリシーを正式に採用している
- 建築製品について、以下のような環境・健康に関する属性情報(の開示)を求めている(複数回答可)
- 健康・環境情報
 - 環境製品宣言 (EPD)
 - 健康製品宣言 (HPD)
 - 他の健康・環境情報 (具体的に) _____
- 以下のような建築製品の仕様を定めている(複数回答可)
- 環境負荷に関する情報を開示している資材の優先的な仕様指定および購入
 - 健康被害の潜在的可能性に関する情報を開示している資材の優先的な仕様指定および購入
 - 人間や環境への負荷の点から使用すべきでない禁止資材および原材料のレッド・リストの活用
 - 地場(国産)で採取または回収された資材の仕様指定
 - 短期間で再生可能な資材や低炭素資材、リサイクル含有資材の仕様指定および購入
 - リサイクルが容易な材料の仕様指定および購入
 - 第三者に認証された木材や木製品の仕様指定および購入
- 利用した第三者認証の種類: _____

- 低 VOC 材料の仕様指定および購入
- その他（具体的に） _____

仕様の要求事項や優先事項について、一貫して適合していることを担保する取組みやプロセスをご説明ください。（英語250ワード、日本語500文字以内）

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

【いいえ】

【該当なし】

NC5.1 貴社/ファンドは、新規開発事業および大規模改修プロジェクトにグリーンビル基準を適用していますか。

【はい】

該当する項目を全て選択してください。（複数回答可）

貴社/ファンドは、プロジェクトが第三者のグリーンビル評価システムの要求事項に整合することを求めているが、認証までは求めている。

ポートフォリオ全体に対する割合（床面積ベース）

- 0%超 25%未満
- 25%以上 50%未満
- 50%以上 75%未満
- 75%以上 100%以下

グリーンビル評価システム（該当するもの全て）： _____

貴社は、プロジェクトがグリーンビル評価システムによる認証を取得することを要求している。

ポートフォリオ全体に対する割合（床面積ベース）

- 0%超 25%未満
- 25%以上 50%未満

- 50%以上 75%未満
- 75%以上 100%以下

グリーンビル評価システム（該当するもの全て）： _____

貴社は、プロジェクトが認証の特定のレベルを達成することを要求している。

ポートフォリオ全体に対する割合（床面積ベース）

- 0%超 25%未満
- 25%以上 50%未満
- 50%以上 75%未満
- 75%以上 100%以下

グリーンビル評価システム（該当するもの全て）： _____

貴社の採用する認証レベル： _____

【いいえ】

【該当なし】

NC5.2 貴社/ファンドには、グリーンビル認証を受けた新規開発および大規模改修プロジェクトがありますか。

【はい】

認証スキームの名称および、認証を受けた割合をお答えください。（複数回答可）

報告期間の期末時点で開発・改修中のプロジェクト

認証スキーム名 /サブスキーム名 *	認証レベル	ポートフォリオに占める割合 (床面積ベース) (%)	認証された プロジェクトの数

報告期間中に完了したプロジェクト

認証スキーム名 /サブスキーム名 *	認証レベル	ポートフォリオに占める割合 (床面積ベース) (%)	認証された プロジェクトの数

* 認証スキームのリストはリファレンスガイドに掲載します。「その他」を選択された場合、そのスキームに関する追加設問にご回答ください。(Appendix 参照)

【いいえ】

【該当なし】

エネルギー効率・水効率

NC6 貴社/ファンドには、新規開発および大規模改修プロジェクトにおける、最低限のエネルギー効率要件がありますか。

【はい】

以下によってエネルギー効率化を推進しています。(複数回答可)

計画・設計の要件： 該当する項目を選択してください。(複数回答可)

- 統合設計プロセス
- 省エネルギー基準を超えること
- その他(具体的に) _____

一般的なエネルギー効率化対策： 該当する項目を選択してください。(複数回答可)

- 空調
- コミッショニング
- エネルギーモデリング
- 照明
- 入居者による室内環境の制御
- 暖房
- 換気
- 給湯
- その他(具体的に) _____

運用段階のエネルギー効率モニタリング： 該当する項目を選択してください。（複数回答可）

エネルギー消費量の分析

竣工後のエネルギーモニタリング年数 平均_____年

サブメーター

その他（具体的に） _____

貴社のエネルギー効率化対策の要求レベルは以下のどれですか。

現地の法定基準を満たすことを要求している。

法定以上のレベルの基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。

その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

法定以上のレベルの基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。

その基準をご説明ください。（英語 150 ワード、日本語 300 文字以内）

国または国際的な先導的基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。

その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

国または国際的な先導的基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。

その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

【いいえ】

NC7.1 貴社/ファンドは、新規開発および大規模改修プロジェクトの設計において、敷地内の再生可能エネルギーを取り入れていますか。

【はい】

敷地内で再生可能エネルギーを生成するように設計されたプロジェクトの割合をご回答ください。（複数回答可）

- バイオ燃料 全プロジェクトに占める割合 _____%（床面積ベース）
- 地熱 全プロジェクトに占める割合 _____%（床面積ベース）
- 水力 全プロジェクトに占める割合 _____%（床面積ベース）
- 太陽光・太陽熱 全プロジェクトに占める割合 _____%（床面積ベース）
- 風力 全プロジェクトに占める割合 _____%（床面積ベース）
- その他（具体的に）_____ 全プロジェクトに占める割合 _____%（床面積ベース）

全エネルギー需要のうち敷地内の再生可能エネルギーによってまかなえる割合の平均設計目標_____%

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

【いいえ】

【該当なし】

NC7.2 貴社/ファンドの新規開発および大規模改修プロジェクトは、ネットゼロエネルギー基準を満たすよう設計されていますか。

【はい】

適用しているネットゼロ基準について、下記をご回答ください。

- ネットゼロエネルギーの貴社での定義をご説明ください。（英語 150 ワード、日本語 300 文字以内）

適用している基準をご説明ください。（英語 150 ワード、日本語 300 文字以内）

その他（具体的に） _____

プロジェクトの割合 _____ %（床面積ベース）

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____ ）

【いいえ】

【該当なし】

節水と廃棄物管理

NC8 貴社/ファンドは、新規開発および大規模改修プロジェクトにおいて節水を推進していますか。

【はい】

以下によって節水を推進しています。（複数回答可）

計画・設計の要件： 該当する項目を選択してください。（複数回答可）

- コミッショニングプランの策定と実施
- 節水に資する統合設計
- 屋内での水使用効率化の要件
- 屋外での水使用効率化の要件
- 冷却塔・冷凍機等での水使用効率化の要件
- 水供給の要件
- その他（具体的に） _____

一般的な水使用効率化対策： 該当する項目を選択してください。（複数回答可）

- 水使用システムのコミッショニング
- ドリップ/スマート灌水
- 干ばつに強く必要水量の少ないランドスケープ

- 節水/無水機器
- 漏水検知システム
- 人感センサー
- 敷地内における排水処理
- 雨水・中水の非飲料用途での再利用
- その他（具体的に） _____

運用段階の水使用効率モニタリング： 該当する項目を選択してください。（複数回答可）

- 竣工後の水使用モニタリング年数 平均 _____ 年
- サブメーター
- 水使用量の分析
- その他（具体的に） _____

貴社の水使用効率化対策の要求レベルは以下のどれですか。

- 現地の法定基準を満たすことを要求している。
- 法定以上のレベルの基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

- 法定以上のレベルの基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語 150 ワード、日本語 300 文字以内）

- 国または国際的な先導的基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

- 国または国際的な先導的基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

【該当なし】

NC9 貴社/ファンドは、新規開発および大規模改修プロジェクトの建設段階において、建設現場での効率的な廃棄物管理を推進していますか。

【はい】

以下によって廃棄物管理の効率化を推進しています。(複数回答可)

- 管理と建設工事の実務： 該当する項目を選択してください。(複数回答可)
- 建設廃棄物の分別用サイン表示
 - 従業員や請負業者に対する廃棄物管理についての教育・研修
 - 建築資材の回収やリサイクルに関する請負業者へのインセンティブ制度
 - 廃棄物の削減、再利用あるいはリサイクルに関する目標設定
 - 廃棄物管理プラン
 - 廃棄物分別のための施設
 - その他 (具体的に) _____
- 敷地内の廃棄物モニタリング： 該当する項目を選択してください。(複数回答可)
- 有害 (危険) 廃棄物モニタリング
 - 無害 (一般) 廃棄物モニタリング
 - その他 (具体的に) _____
- 貴社の廃棄物管理手法の要求レベルは以下のどれですか。
- 現地の法定基準を満たすことを要求している。

- 法定以上のレベルの基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

- 法定以上のレベルの基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語 150 ワード、日本語 300 文字以内)

- 国または国際的な先導的基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

- 国または国際的な先導的基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

サプライ・チェーン

NC10.1 貴社/ファンドは、外部の請負業者に対して環境・社会に関する要件を設けていますか。

【はい】

含まれる内容を選択してください。（複数回答可）

- 企業倫理
- コミュニティとの関係構築（エンゲージメント）
- 調達プロセスに関する環境基準
- 物品に関する環境基準
- 基本的人権
- 物品に関する健康に基づく基準
- 敷地内での健康と安全
- 下請業者へのサステナビリティ要件の設定
- その他（具体的に） _____

プロジェクトの割合 _____%（床面積ベース）

裏付け資料を添付してください。（資料名・該当箇所 _____）

【いいえ】

NC10.2 貴社グループは、外部の請負業者が貴社/ファンドに関して設定された環境・社会に関する要件を、遵守しているかモニターしていますか。

【はい】

該当する項目を選択してください。（複数回答可）

- 請負業者が建設期間に環境および社会的な観点に関する報告書を提出
- 第三者による外部監査 報告期間内に監査が行われたプロジェクトの割合 _____%（床面積ベース）
第三者機関名 _____
- 社内監査 報告期間内に監査が行われたプロジェクトの割合 _____%（床面積ベース）
- 週/月ごとの（現場内）ミーティングや予告なしの現場検査 報告期間内に現場を確認したプロジェクトの割合 _____%（床面積ベース）

その他（具体的に） _____

【いいえ】

【該当なし】

健康と安全

NC11 貴社/ファンドは、新規開発および大規模改修プロジェクトにおいて、入居者の健康と福祉を推進していますか。

【はい】

入居者の健康と福祉に関する設計上の要件について、該当する項目を選択してください。（複数回答可）

- 計画・設計に関する要件： 該当する項目を選択してください。（複数回答可）
- 健康影響評価
 - 統合計画プロセス
 - その他の計画プロセス（具体的に） _____
- 入居者に対する一般的な健康・福祉対策： 該当する項目を選択してください。（複数回答可）
- アクティブ・パッシブなレクリエーションスペースへのアクセス
 - 入居者の健康・福祉に貢献するデザイン的な特徴
 - コミッショニング
 - 昼光の導入
 - 室内空気質モニタリング
 - 室内空気質の汚染源の制御
 - 自然換気
 - 入居者による室内環境の制御
 - アクティブな交通手段（徒歩・自転車）の提供
- 入居者の健康・福祉パフォーマンスを実証するための規定（複数回答可）
- 入居者に対する教育
 - 竣工後の健康・福祉モニタリング年数（例：入居者の快適性や満足度） 平均 _____ 年
 - その他（具体的に） _____
- 貴社の入居者の健康・安全・福祉対策の要求レベルは以下のどれですか。

現地の法定基準を満たすことを要求している。

法定以上のレベルの基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

法定以上のレベルの基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語 150 ワード、日本語 300 文字以内)

国または国際的な先導的基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

国または国際的な先導的基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。(英語150ワード、日本語300文字以内)

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

【該当なし】

NC12.1 貴社/ファンドは、新規開発および大規模改修プロジェクトの建設段階において、建設現場における健康と安全を推進していますか。

【はい】

以下によって建設現場における健康と安全を推進しています。（複数回答可）

- 安全性に関する情報の伝達
- 安全性の継続的な向上
- 安全性に関する指導力の発揮
- 安全性に関する実践の定着
- 安全性リスクの管理
- 安全性に資する設計の推進
- その他（具体的に） _____

貴社の建設現場における健康・安全対策の要求レベルは以下のどれですか。

- 現地の法定基準を満たすことを要求している。
- 法定以上のレベルの基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

- 法定以上のレベルの基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語 150 ワード、日本語 300 文字以内）

- 国または国際的な先導的基準を、いくつかのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

- 国または国際的な先導的基準を、全てのプロジェクトにおいて満たすことを要求している。
その基準をご説明ください。（英語150ワード、日本語300文字以内）

NC12.2 貴社グループは、建設現場における労働安全衛生指標をモニターしていますか。

【はい】

該当する項目を選択してください。(複数回答可)

傷害発生率 _____

<記入必須> 傷害発生率の計算方法をご説明ください。(英語 250 ワード、日本語 500 字以内)

死亡率 _____

ニアミス _____

【いいえ】

コミュニティへの影響と関係構築

NC13 貴社/ファンドは、計画段階や建設工事の事前段階において、新規開発および大規模改修プロジェクトがコミュニティに与える社会・経済的な影響を評価していますか。

【はい】

評価している影響を選択してください。(複数回答可)

- 住宅のアフォーダビリティ
- 犯罪発生率への影響
- 住みやすさスコア
- 地域で生み出された収益
- 地域住民の健康・安全
- ウォーカビリティスコア
- その他 (具体的に) _____

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

NC14 貴社/ファンドは、新規開発および大規模改修プロジェクトについて、プロジェクトの進行段階ごとに地域コミュニティへの影響をモニタリングするための体系的なプロセスをお持ちですか。

【はい】

貴社のプロセスに含まれる項目を選択してください。(複数回答可)

- モニタリングしたデータの分析と解釈
- コミュニケーション計画の策定と実施
- コミュニティモニタリング計画の策定と実施
- リスク軽減に関する計画の策定と実施
- 迷惑または混乱を生じるリスクの特定
- ステークホルダーや影響を受けるグループの特定
- コミュニティモニタリングの間に特定されたパフォーマンス目標や課題に対する説明責任を果たすための管理実務
- その他 (具体的に) _____

モニタリングのプロセスを説明してください。(英語 250 ワード、日本語 500 文字以内)

裏付け資料を添付してください。(資料名・該当箇所 _____)

【いいえ】

Appendix: グリーンビル認証 — 検証用の設問

以下の質問は検証を目的としており、回答は必須ですが、採点対象とはなりません。

「その他」を選択した場合、以下をご回答ください：

A. 認証スキーム

- (a) 認証スキーム名 _____
- (b) 認証サブスキーム名 _____
- (c) 認証機関名 _____

B. どの国で認証が交付されましたか？ _____

C. その認証は社内のスキームですか、外部のスキームですか？

- (a) 社内のスキーム
- (b) 外部のスキーム

D. 認証の要求事項を充足するかの検証はどのように行われていますか？

- (a) 第三者による文書の確認
- (b) 第三者による現地調査
- (c) 第三者による文書の確認と現地調査
- (d) 文書や現地調査は要求されていない

(注： 社内スキームの場合、認証スキームの追加情報に関する裏付け資料の提出が必要です。また、第三者による文書の確認や現地調査が不要な場合、評価手法に関する特定の情報を裏付け資料として提出するよう求められます。)

E. その認証スキームは、認証されたプロジェクトのリストをオンラインで公開していますか？

- はい
ハイパーリンクを記入してください。 リンク先 _____

いいえ

F. その認証スキームは、中央・地方政府機関の制度上、義務的要件となっていますか？

- はい
政府機関の名前を述べてください。 _____

いいえ

G. その認証スキームは、中央・地方政府機関の制度上、利用されていますか？

- はい
政府機関の名前を述べてください。 _____

いいえ

H. その認証スキームは次のどれを要求していますか？

- (a) エネルギー効率向上・温室効果ガス（GHG）排出量削減の設計性能目標
- (b) エネルギー効率向上・温室効果ガス（GHG）排出量削減の運用実績データ
- (c) 設計性能目標と運用実績データ収集の双方
- (d) 特に要求していない

I. その認証スキームで評価される項目を選択してください。【複数回答可】

- (a) 立地（例：ブラウンフィールドの再開発、開発密度、ウォークアビリティ）
- (b) 交通手段（例：公共交通へのアクセス）
- (c) 敷地デザイン（雨水管理、ヒートアイランド緩和などを含む）
- (d) エネルギー使用の効率性
- (e) 温室効果ガス
- (f) 屋内の水使用の効率性
- (g) 屋外の水使用の効率性
- (h) 廃棄物管理（廃棄物の流れの転換、リサイクルを含む）
- (i) 室内環境の質
- (j) 運営/管理
- (k) 建材の選択
- (l) 生物多様性と生息地保全
- (m) 公共の健康と福祉
- (n) 社会的公正
- (o) レジリエンス

J. 追加情報があれば、下記に記入してください。（英語 250 ワード、日本語 500 字以内）

--

【いいえ】

【該当なし】